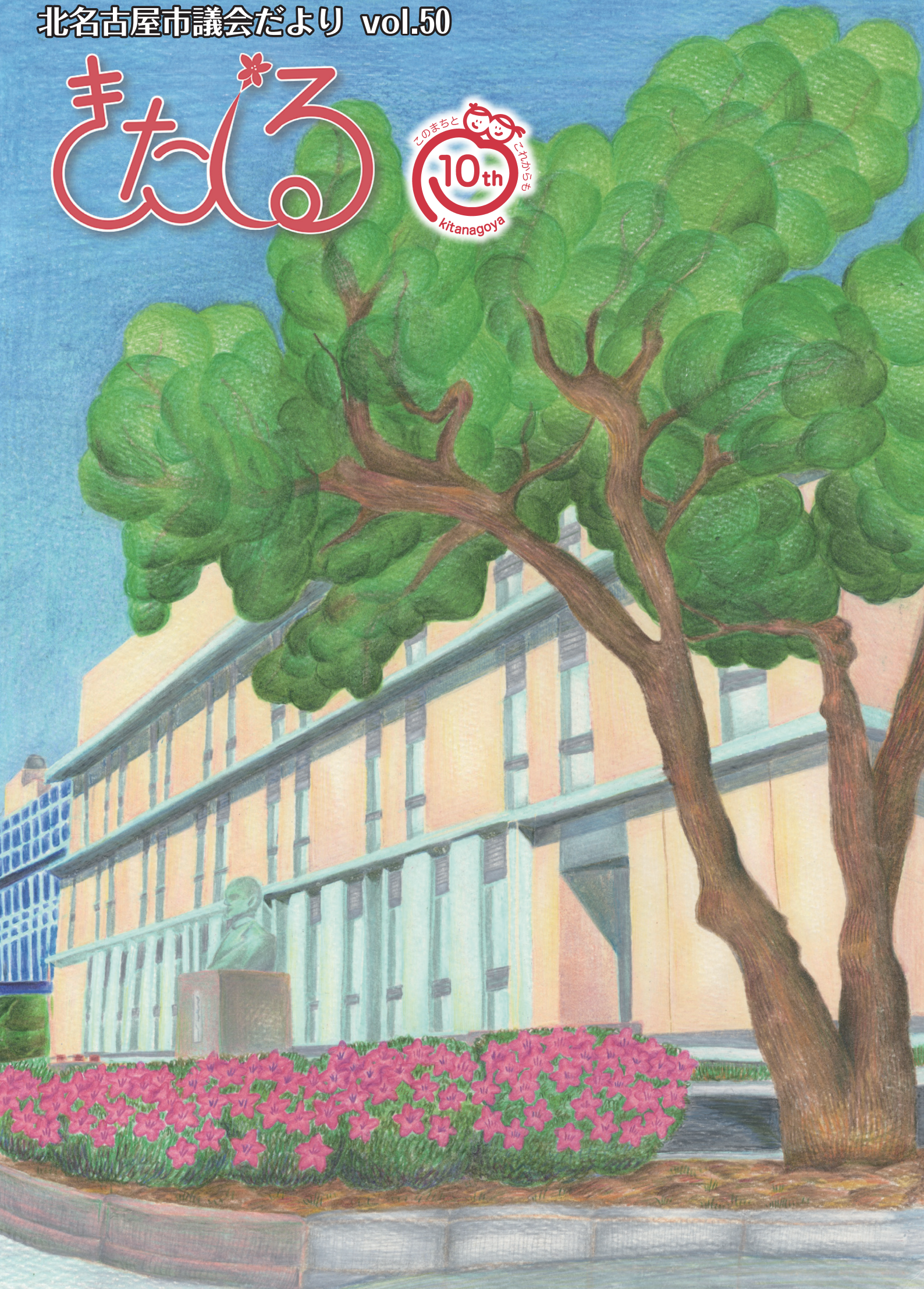


北名古屋市議会だより vol.50

きたる



子育て支援 の充実



(仮称)九之坪保育園 完成図

● 保育園施設整備事業 (1億4,907万円)

九之坪南保育園と九之坪北保育園を統合し、利便性の向上と安全で快適な保育環境を提供するため、新たな保育園（仮称）九之坪保育園を建設する。

● 児童手当事業 (16億68万9千円)

家庭における生活の安定と子どもの健全な育成及び資質の向上を図る。

安全・安心な まちづくり



防犯カメラ

● 防犯カメラ設置費補助事業 (150万円)

地域の防犯体制強化のために、自治会が設置する防犯カメラの設置費用を補助する。

● 東庁舎耐震改修事業 (1億7,294万3千円)

将来予想される巨大地震に備え、災害時の行政機能の維持と来庁者の安全確保のための改修を行う。

気になる！お金の使いみち！

予算

第1回定例会では市長から提出された一般会計予算など、ここでは5本柱に重点をおいた、主な事業を紹介します。

※5本柱とは、市の目標である『健康快適都市』を実現させるための平成28年度当初予算の重点のことで、「子育て支援の充実」「福祉・医療の充実」「教育環境の充実」「安全・安心なまちづくり」「魅力あるまちづくり」を掲げています。

歳入 財産収入：11億964万9千円



旧東給食センター



旧西給食センター

- 市が所有する土地等の遊休資産を売却し、基金の取り崩しを抑制する。

CONTENTS

第1回定例会の結果	P 4
代表質問	P 8
個人質問	P12
委員会における審査報告	P15
モニター会議結果報告	P18
モニター意見箱・	
第2回定例会の予定	P19
議員紹介・表紙紹介・編集後記	P20

福祉・医療 の充実



救急指定病院 済衆館病院

- 救急医療事業（1億758万6千円）**
地域住民の医療機会の確保及び救命・救急医療の充実と円滑な運営を図る。
- 認知症総合支援事業（453万8千円）**
早期の認知症状の悪化防止のための総合的な支援を行う。

教育環境の 充実



西春小学校

- 放課後子ども教室事業（1,999万5千円）**
小学校4年生から6年生を対象に特別教室等を一時利用し、児童の安全・安心な居場所づくりを行う。
- IT教育支援事業（3億3,419万4千円）**
児童生徒に視覚情報を活用した、わかりやすい授業を提供するため教師用のパソコンを各普通教室に1台配置し、デジタル教科書等を活用した授業環境の整備を行う。

特 集

予算関連議案について審議が行われました。

魅力ある まちづくり



10周年記念ロゴ

- 市制施行10周年記念事業（3,247万8千円）**
市民・企業等から募った寄附金を財源に、記念事業としてダンスや世界記録への挑戦といった各種イベントを実施する。

会 計	金 額
一 般 会 計	268億6,000万円
土 地 取 得 特 別 会 計	2億8,100万円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	94億3,100万円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	10億800万円
介 護 保 険 特 別 会 計	42億8,900万円
西春駅西土地区画整理事業特別会計	3,900万円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	21億700万円
合 計	440億1,500万円

平成28年 第1回定例会の結果

会期24日間 2月23日～3月17日

今回の議案

条例等の制定及び改正 …… 23件 新年度予算 …………… 7件
 補正予算 …………… 6件 人事案件 …………… 14件

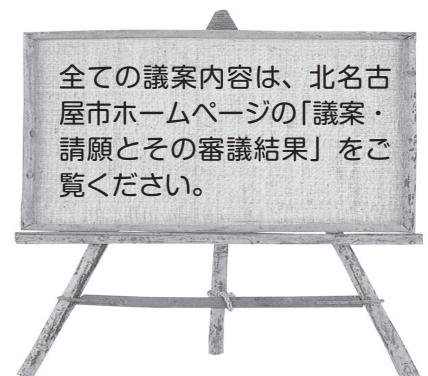
議案番号	議 案 名	議決結果
議案第1号	北名古屋市行政不服審査会条例の制定について	
議案第2号	北名古屋市行政不服審査関係手数料条例の制定について	
議案第3号	北名古屋市選挙管理委員会関係手数料条例の制定について	
議案第4号	北名古屋市固定資産評価審査委員会関係手数料条例の制定について	全員賛成 原案可決
議案第5号	行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	
議案第6号	北名古屋市証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	
議案第7号	北名古屋市職員の給与に関する条例の一部改正について	
議案第8号	北名古屋市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	賛成多数 原案可決
議案第9号	北名古屋市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	
議案第10号	北名古屋市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
議案第11号	北名古屋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第12号	北名古屋市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	
議案第13号	平成27年度北名古屋市一般会計補正予算(第3号)について	
議案第14号	平成28年度北名古屋市一般会計予算について	賛成多数 原案可決
議案第15号	平成28年度北名古屋市土地取得特別会計予算について	
議案第16号	北名古屋市西春駅東口地下自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議案第17号	北名古屋市消防団条例の一部改正について	
議案第18号	北名古屋市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第19号	平成27年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	
議案第20号	平成27年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	

議案第21号	平成28年度北名古屋市国民健康保険特別会計予算について	賛成多数 原案可決
議案第22号	平成28年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計予算について	
議案第23号	北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について	
議案第24号	北名古屋市医療費支給条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第25号	北名古屋市健康ドームの設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議案第26号	平成27年度北名古屋市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	
議案第27号	平成28年度北名古屋市介護保険特別会計予算について	賛成多数 原案可決
議案第28号	北名古屋市介護保険条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第29号	北名古屋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び北名古屋市遺児手当支給条例の一部改正について	
議案第30号	北名古屋市児童館の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	
議案第31号	平成27年度北名古屋市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	
議案第32号	平成28年度北名古屋市西春駅西土地区画整理事業特別会計予算について	
議案第33号	平成28年度北名古屋市公共下水道事業特別会計予算について	
議案第34号	北名古屋市次世代企業立地促進条例の制定について	
議案第35号	北名古屋市プールの設置及び管理に関する条例の一部改正について	全員賛成 原案同意
議案第36号 ～ 議案第49号	北名古屋市農業委員会委員の任命について	
議案第50号	平成27年度北名古屋市一般会計補正予算(第4号)について	

今号では、色の付いている議案をピックアップします。
なお、議案質疑等は委員会のページ(P15)に掲載しております。



全ての議案内容は、北名古屋市ホームページの「議案・請願とその審議結果」をご覧ください。



予算

平成27年度北名古屋市一般会計補正予算 (第3号・第4号) 及び特別会計補正予算(第2号)について



会計名	補正額	予算現額
一般会計(第3号)	4億7,843万円増	304億1,512万5千円
一般会計(第4号)	9億800万円増	

PICK UP

概要として、第3号は、国の補正予算を活用した事業と人事院勧告に伴う人件費の増額等、事業の執行に伴う補助金等の見直し額の予算措置を主とした補正予算の編成となっています。

第4号は、国の補正予算を活用し、全小学校に空調機を整備するための追加補正です。



さらにもう一步! 踏み込み解説!



一般会計の補正額は約4億8千万円、約9億1千万円とありますが、この金額は国や県が負担してくれる補助金等も含まれており、今回の補正予算の第3号では約2億4千万円が、第4号では1億5千万円がそれにあたります。

厳しい社会情勢の中、使える補助金等を有効的に活用し、少しでも北名古屋市の負担が少なくなるよう、議員も日々確認・監督を行っています。

特別会計名	補正額	予算現額
国民健康保険特別会計	1億3,134万8千円増	96億6,061万7千円
後期高齢者医療特別会計	141万3千円増	9億3,895万5千円
介護保険特別会計	1,803万1千円減	44億8,087万1千円
公共下水道事業特別会計	9,340万円減	23億4,380万円

条例

北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について

可決

国民健康保険の財政基盤の安定を図ることを目的として、被保険者の国民健康保険税の負担を見直すことに伴い、条例の一部を改めた。



PICK UP

被保険者の高齢化や医療技術の高度化により保険給付費が増大する中、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況にあります。安定した国民健康保険事業の運営を維持するため、賦課限度額を含む加入者負担の見直しを図るとともに、低所得者世帯にとって大きな負担となっている資産割について大幅な削減を図り、将来的には廃止する方向で保険税の税率を設定しました。



さらにもう一步！ 踏み込み解説！

一般会計からの繰入金には、法定繰入と法定外繰入があり、ここでの「一般会計からの繰入金」とは、法定外の繰入のことを言います。法定外の繰入とは、各市の独自の裁量で、足りない分等のお金を補うために一般会計から繰り入れているお金の中で、平成27年度は約5億7,570万円、平成28年度は条例の改正をしても、約6億9,760万円が足りなくなると予想されています。



インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果等が見られます

北名古屋市議会では、インターネットで議会に関する様々な情報をご覧いただくことができます。

是非、この機会に市民の皆様のアクセスをお待ちしております。

ホームページはこちらから



北名古屋市議会

検索

※通信料等はご利用者負担となります。



代表質問

市政クラブ 平野 弘 康

施政方針について

- 1 子育て支援の充実について
本市の保育士の不足及び労働環境や、保育園の統合、建設の今後の計画は。また、民間委託の成果は。
- 2 福祉・医療の充実について
病気、介護、認知症予防の体制整備として、公園に軽運動等ができるよう整備をしては。
- 3 教育環境の充実について
小学校から中学校への進学を円滑化するため、小中連携、一貫教育の取り組みの考えは。
- 4 安全・安心なまちづくりについて
 - ①防災について、市民にどのような援助と指導をしているか。
 - ②名鉄の鉄橋を含む五条川の改修はいつになるのか。
 - ③市内の河川堤防の地震に対する調査整備計画は。
 - ④徳重名古屋芸大駅周辺のまちづくり協議会の検討・協議は。また、事業の完了まで何年と予測しているか。
 - ⑤市独自の防犯カメラ設置はどうなっているか。
- 5 魅力あるまちづくりについて
北名古屋市区世代企業立地促進条例の指定地域が限定されているが、他地区を指定する考えはないか。本市の交通利便性を生かした整備を含め、魅力あるまちづくりについて市長の思いは。



認知症総合支援事業（ほっとカフェ）



市長

- 1 保育士確保のため常時募集し、非常勤職員を多く採用することにより常勤職員の時間外労働を低減する。保育園の整備に係る市の方針を早期に示す。民間委託は信頼も高まってきており、今後は市民の意見を集約し検討していく。
- 2 運動や活動ができる環境を整備し、運動クラブなどの活動支援を充実させていく。
- 3 小中学校の段差軽減のため、情報交換や研修を実施し、更なる段差解消に向け小中連携を一層強化していく。
- 4 ①自助の考え方を訓練等の場で周知するとともに防災関連補助金の交付によるサポートをしている。
②五条川は鉄道立体交差化と同調した改修を県に強く要望する。
③市内の河川は地震対策よりも改修を優先して県に要望していく。
④まちづくり協議会等を立ち上げ、面的整備の範囲を地元と検討・協議していく。鉄道高架の事業期間は少なくとも約25年である。
⑤防犯カメラは、公共施設の他、公共性の高い空間に増設している。
- 5 地区の指定は、住宅と工場の混在を整序するため、他地区の指定は今のところ考えていない。また、高度先端企業の進出に指定地域の定めはなく、名古屋駅への好アクセスを活かし、次の10年を見据え、魅力あるまちづくりを進めていく。

代表質問

公明党 猶木 義郎

平成28年度施政方針について

中央から地方へ権限移譲が進み、自治体側が効果的な「地域発」の知恵を生み出すことが求められている。

- 1 今後必要となる子育て支援に関わる人材を、地域でどのように確保していくのか。
- 2 重要施策と位置付けをしている「福祉・医療の充実」において、これからの地域包括ケアシステムに対する市長の考えは。
- 3 高齢者が意欲に応じて働き続けられる環境を整備することは時代の要請とも言える。来年度、法改正に伴いシルバー人材センターの機能強化が大事な視点となるが、市長の考えは。
- 4 本市の5年後、10年後の将来のビジョンについて市長から市民へのメッセージは。



※用語説明 リニアインパクト
リニア開業により名古屋や東海地域にもたらす影響のこと



シルバー人材センター

市長

- 1 以前に策定した「いきいき成長応援プラン」に基づき、様々な人が子育て支援や子どもの成長をサポートする地域社会づくりを目指している。「地域ふれあい会」、「乳幼児ふれあい学習」、「子育て支援員研修」等の事業を通して、子育てに関わる人や仲間づくりを推進し、より多くの市民と本市職員との協働により子育て支援事業を充実していくことにより確保していきたい。
- 2 現在、他の自治体に先駆け様々な取り組みを始めている。在宅医療と介護の連携事業、認知症初期集中支援チームの新設、地域の現状にあわせたサービスの提供ができる総合事業の新設等、増加する高齢者の方々が困らない体制整備を図っていく。
- 3 今後も安定した就業機会ができるようシルバー人材センターと関係機関との横の連携を強化していく。法改正は、派遣、職業紹介に限られるが就業時間の延長が図られ、生き生きと健康で暮らせるよう安定した就業の機会が増えることを期待している。
- 4 大都市名古屋に近接する利便性を活かし、リニアインパクトをしっかりと受け止めていきたいと考えるので、市民の皆様と共に取り組みを進めていけるように、ご支援をお願いしたい。

代表質問

日本共産党 大原 久直

施政方針について

- 1 市民は平和で豊かな生活を願い、市長は市政運営で広島・長崎の平和式典に中学生を派遣する等平和事業を推進している。市民が平和に暮らせるために全力を注いでほしいが、施政方針では平和に触れていない、その見解は。
- 2 議会で国民健康保険税の引上げを提案しているが、消費税の増税等で市民生活は苦しい状況である。国保会計を圧迫しているのは国が医療給付分の補助を大幅にカットしたことにある。医療給付分の国庫補助増額の必要性について国に声を上げていく考えは。
- 3 新たな企業誘致だけでなく、市内の自営業や小中事業所への支援も市民の雇用確保は市民税増収につながる。今年度の企業誘致の目標は。また、企業に対し本市の魅力をどう伝えているか。



市長

- 1 人々の平和な暮らしを望む私の気持ちは、永久不変である。施政方針で述べたこれからのまちづくりは、我が国の平和が維持されていることが前提である。本市の平和への取り組みは、前年同様に平和事業を推進し、平和のありがたさを訴えていく。
- 2 国民健康保険の加入者は高齢者の割合が高まっている。高度な医療の普及等による医療費の増大でその運営は厳しく、今回保険税率の見直しを行った。国会や県政等に国保財政基盤の拡充・強化及び市町村が運営する国保の危機的状況を訴えていく。
- 3 まち・ひと・しごと創生総合戦略において、平成31年度までの企業誘致目標値を5件と定めている。次世代企業立地促進条例では、既存の中小企業や小規模企業者でも支援が得られやすい基準に改正した。

また、本市の魅力としては、地理的条件に加え、コンパクトな市域で買い物・医療・行政サービスの利便性の高さを伝え、企業の従業員が暮らしやすいまちであることを伝えている。



平和宣言都市看板

代表質問

市民民主クラブ 上野 雅美

施政方針について

- 1 大規模災害への備え及び新たな総合計画等の施策に向け、基金の積立ては重要である。今後の基金のあり方についての見解は。
- 2 九之坪北保育園と九之坪南保育園が統合され、(仮称)九之坪保育園が建設されるが、地域の説明会の予定及び市内の保育園の今後の状況は。
- 3 児童クラブと新たに始まる放課後子ども教室の連携について、今後の全体的な取組みは。
- 4 子ども医療費扶助が拡充されるが、子ども医療費の今後の見解は。
- 5 新たに取り組む認知症初期集中支援チームの具体的な支援内容は。
- 6 大規模災害に備え、公共施設の耐震化、総合治水対策の進捗状況は。また、防災訓練や防災教育等の防災力の向上はどうなっているか。
- 7 まちづくりの指針である総合計画は、この2年間で策定されるが、本市の未来の姿は。また、多くの世代の市民の声を反映させる取組みは。



師勝北児童クラブ



市長

- 1 多くの自治体が、財政調整基金は標準財政規模の10パーセントが適正としており、本市は17億円を目安としている。今後、選択と集中の行政経営により基金からの繰り入れを抑制する等基金残高の確保に努める。
- 2 保護者へは昨年7月29日、予定地周辺の土地所有者へは今年2月29日に説明会を開催した。3歳未満児の保育利用希望者が増加しているので、(仮称)九之坪保育園の整備による定員枠の拡大や、民間事業者による小規模保育施設の開設を促している。
- 3 放課後子ども教室は今後全小学校に開設し、両事業の連携を密にして、体験や交流活動等一体型の運営に取り組み、子どもがより豊かに成長する環境を整える。
- 4 国で子どもの医療制度の在り方等に関する検討会の結論が春にまとめられる予定なので、その結論を踏まえて本市の子育てに対するあり方を検討していく。
- 5 複数の認知症対応の専門職のメンバーにより、家族も対応ができず医療にも結び付かない様々なケースへの対応や、家族支援ができる体制を整備していく。
- 6 関連施設の整備を始め、市民の自助力を結集する共助の力を高めるため、サポートをしていく。
- 7 まちづくりの方針、主要な施策を大きく変える考えはない。現行の総合計画を十分に検証し、また、市民の声を反映させるため、意向調査を行い、指標に結び付け進捗を図っていく。

個人質問



ここでは、一般質問の一部のみを掲載しています。
一般質問の全ての内容は、動画や会議録（※）でご覧いただくことができます。市ホームページの「市議会」から「議会録画中継」「会議録検索システム」を検索してご覧ください。
※第1回定例会の会議録は5月9日頃掲載予定です。

質問議員 7名

高齢者等の交通事故防止

神田 薫(市政クラブ)

愛知県下の交通死亡事故を分析したところ、被害者は高齢者が8割を占めていた。交通弱者や超高齢化社会に対応した事故防止のための制度の見直しや意識改革が求められている。

- ①立て看板を市域全体の生活道路に設置することにより、車の流れを変え、自転車と歩行者の安全を確保し、事故防止を図る考えは。
- ②自転車利用に伴う安全啓発は大切な課題である。「健康と安全」を組み合わせた脳トレプログラムを導入し、講習修了証等を配布する取組みを検討しては。

防災交通課長

- ①現在、自治会等から危険箇所の情報を受け、法規制の有無にかかわらず、立て看板による注意喚起を行っている。今後も各地区から情報を収集し、効果的な設置に努めていきたい。
- ②脳トレプログラムは高齢者に特化した要素があり安全啓発活動の手法になり得るため、導入に向けて調査、検討していきたい。

アメリカ・グアム準州との交流について

桂川 将典(市政クラブ)

本市の英語教育は、実践的なコミュニケーション能力向上に向けて熱心に取り組んでおり、その結果、中学校の英語能力判定テスト結果は全国平均を大きく上回ることができた。英語圏との交流は過去にも議会では取り上げられているが、昨年9月には調査団がグアムを訪問し、関係性が深まっている。3月末に公式訪問を控え、今後グアムと本市との間でどのような取組みがされるのか。また、3月末の訪問の目的と、今後の計画は。

総務部長

英語圏の地域へ本市の中学生を派遣することは、将来国際社会で活躍できる人を育てることにつながると考える。20年にわたる中学生派遣事業を行っている千葉県柏市によると、グアムでは今まで大きな事件もなく、親しみを込めて受け入れてくれる地域とのことである。3月末の公式訪問では、学校を視察し、州知事等へ事業実施の支援を依頼する。平成29年3月下旬の春休みに中学生の5泊6日のホームステイを実施するのが理想だが、語学研修プログラムも選択肢として検討している。また事前・事後のフォローアップ研修も予定している。



危険箇所の早期発見・補修への対策について

間宮 文枝(公明党)

市内の危険箇所については、市民が怪我をしてから補修するのではなく点検を強化するのが望ましいが、発見できる数には限界がある。スマホアプリを活用し、問題箇所を担当課へ直接繋げる動きが広がっており、市民と行政が共に問題解決を図るツールとして有効だと認識している。

- ①本市の点検業務はどのように行われているか。
- ②危険区域における修繕などの具体的な計画は。
- ③市民の安全・安心の為にスマホアプリの運用を早急に取り組んでみては。

施設管理課長

- ①市民やロードサポーターからの通報や、職員のパトロールにより危険箇所を発見し、順次修繕を実施している。
- ②限られた予算のため、危険が伴う緊急かつ重要な箇所から優先的に対応し、他は自治会長からの要望書を参考に優先順位を決め、中・長期的に対応したい。
- ③スマホアプリの活用は、不適切な投稿への対策が課題となるが、有効な手法の一つであるため、導入済の市町の状況も参考に更なる調査研究をしていく。



高学年児童まで切れ目のない児童クラブの拡充を

渡邊 麻衣子(日本共産党)

- ①市民は4年生以降も児童クラブを実施してほしいと望んでいるが、市の考えは。
- ②スペースを意味する居場所と育成のための生活場所は意味が違う。放課後子ども教室においても、児童クラブと同じ生活場所確保が必要では。
- ③留守家庭児童に最善なのは、家庭に代わる環境づくり、保育支援である。市の考えは。
- ④夏休みなどの長期休業期間に、児童館ではなく、児童クラブの利用を市民は切望しているが。

児童課長

- ①放課後子ども教室、児童クラブ及び児童館において4年生以上の居場所を確保している。
- ②児童クラブは生活の場に重点を置いている。実際に子ども達が望むサービスを提供したい。
- ③児童の保護者アンケートで放課後を過ごす場所は自宅や塾・クラブ等を望む回答が大半を占めている。この結果を尊重し、高学年向けカリキュラムによる放課後子ども教室が適切と判断した。
- ④長期休業期間は児童館を活用する。児童館もその目的は児童の健全育成であり、性質の異なる施設とは考えていない。



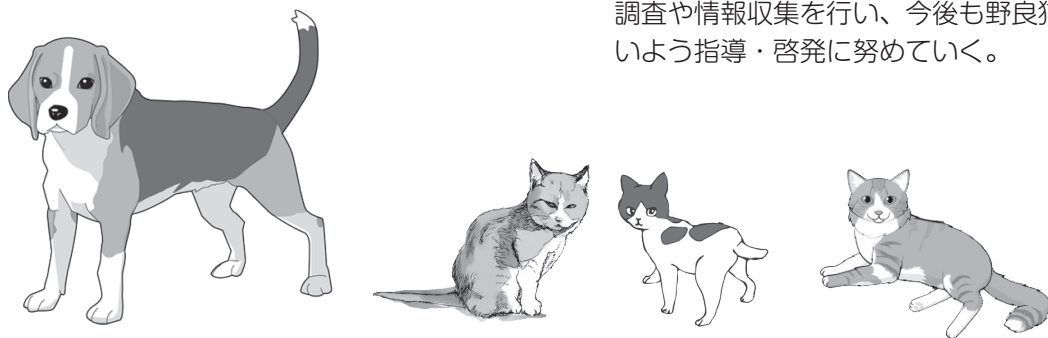
北名古屋市の環境問題について

永津 正和(市政クラブ)

- ①全国各地でごみ屋敷問題が報道され、周辺の環境やコミュニティ活動に影響が出ている。本市の状況及び対応は。
- ②最近の犬猫の飼育状況は、飼い主の高齢化の進行等により、犬よりも飼いやすい猫が多くなったが、飼育放棄などで野良猫が多くなっている地域がある。法的規制がなく、周辺に迷惑になることが予想されるが、本市の状況及び対応は。

防災環境部次長

- ①本市において、ごみ屋敷の定義はないが、外観上多量のごみのある住居があり、近隣住民からの相談がある。所有者の理解が得られない場合は、粘り強く訪問する等片付けを依頼していく。
- ②野良猫が多くなった原因は、無責任な飼い主による捨猫の野生化や野良猫への餌やりなどが考えられる。広報やホームページ等で野良猫の侵入防止や正しい飼い方等を周知するとともに、調査や情報収集を行い、今後も野良猫が増えないよう指導・啓発に努めていく。



高齢者の詐欺被害に対する安全対策

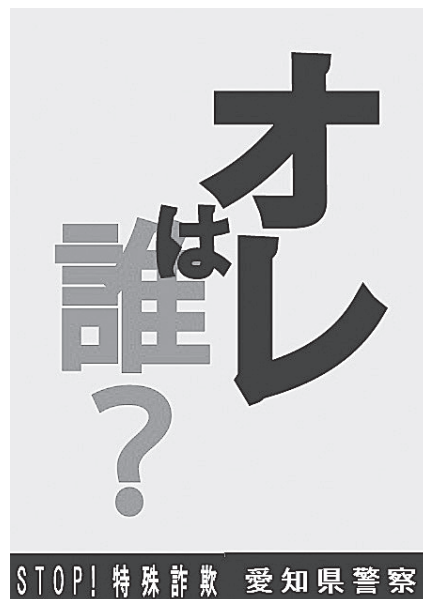
渡邊 幸子(市政クラブ)

詐欺は高齢者が被害者となる割合が最も高い。被害にあう方が後を絶たず、本市は県内で被害の多い地域である。高齢者の安全・安心を確保するためには、「無防備」・「無関心」・「孤独」にならないようにし、地域ぐるみで防犯への取組みが必要である。

- ①被害の防止に取り組む上で、福祉関係課と他課との連携はどのように行っているか。
- ②被害防止の最後の砦となる各金融機関に対して、市としてどのように働きかけていくか。
- ③各地域の民生委員や自治会、老人会などの協力のもと、元気な高齢者が高齢者を支えていく等の新しい地域コミュニティの取組みづくりが必要では。

福祉部次長

- ①パンフレット配布や西枇杷島警察署員による被害の講話などの啓発活動や、被害のあったケースを共有するなど商工農政課と防災交通課と連携を図っている。
- ②市内の一部の金融機関と高齢者見守り活動協定を締結しており、被害予防をその協定に含めてお願いをしている。
- ③市は被害の一報を受けた時は、その日のうちに情報を発信しデイサービス事業所等への周知を行っている。また、気軽に相談できる仲間をつくるサロンや老人クラブ活動で定期的に詐欺予防の学習会を行う取組みを検討していきたい。



コミュニティスクール推進過程での学区選択について

阿部 武史(無所属)

市内の多くの地区では小・中学校は同じ学区の学校に就学するが、一部学区変更を余儀なくされる生徒がいる。制度運営上やむを得ないが、生徒・保護者の不安に配慮すべきである。

- ①小・中学校で学区選択にあたる地域の数及び年間の対象生徒数は。
- ②就学校の変更及び区域外就学許可基準適用範囲において、生徒・保護者のニーズに応えることができないか。
- ③学区変更の不安を安心に変える取組みができないか。

学校教育課長

- ①通学区域によるもので、小学校では、13か所あり、例年5から6人の変更がある。中学校では1か所だが、学区変更の申請はない。また、ごく少数の児童が多くの児童と異なった中学校に進学せざるを得ない地域は2か所で、例年合わせて10人程度である。
- ②大きな状況変化がないため、再検討の予定はなく現行どおりとする。
- ③地域とともにある学校づくりの取組みを進め、こうした中で小中学校の連携をより一層強化していく。

委員会における審査報告

～主な議案質疑
内容を紹介します～

予算決算常任委員会

平成27年度一般会計補正予算（第3号）について



議員

電子計算事務費のネットワーク等セキュリティ強化について、インターネット系と行政系のネットワークを分割するとのことだが、情報漏洩に対するセキュリティはどのように考えているか。

情報漏洩は人的セキュリティ、USBの紛失、パソコンの盗難等がある。今後も情報の持ち出しにポイントを置いてセキュリティ対策を行う。



市役所

平成27年度一般会計補正予算（第4号）について



議員

エアコン設置の予算執行にあたっては、地元の業者にも発注するのか。

一括発注では大手企業に限定されてしまうため、発注方法を分ける等、地元業者も含めた効果的な発注方法を検討していく。



市役所

平成28年度一般会計予算について



議員

歳入に土地売払収入が計上されているが、土地の売却後に社会情勢の変化に伴い、買わなければならないということがあってはならないと思うが、どのように考えるか。

公共施設のあり方について検討した結果、今後利用する予定がないため、その市有地については、売却を決めた。



市役所



議員

防犯カメラの設置費の補助金について、当初は犯罪発生率が高いところから設置ということだったが、限られた予算の中、後回しになる地区もあると思う。今後も同様の方法をしていくのか。

当初は犯罪発生が多い自治会に提案する形をとっていたが、平成28年度は希望の自治会よりエントリー方式で申請を受け付け、西枇杷島警察署と相談しながら審査していく。



市役所



議員

市制10周年記念ナンバープレート作成の予算が計上されているが、具体的な進め方は決まっているか。

名古屋芸術大学ヘデザインを委託し、決定後作成の準備に入る予定。



市役所

委員会における

福祉教育常任委員会



永津委員長



間宮副委員長



黒川委員



長瀬委員



神田委員



山下委員



阿部委員

議案第23号 北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について



議員

資産割を減らした場合、実際に保険税が減額される世帯は。

資産割を医療給付費分・後期高齢者支援金分・介護納付金分、3つ合わせて14%引き下げたことにより、減額となる世帯は全体の約2割の2,500世帯程度と見込んでいる。



市役所

議案第24号 北名古屋市医療費支給条例の一部改正について



議員

子ども医療費の支給の範囲を、世帯合計所得が一定基準以下の世帯に拡充することで、対象が何人増え、増額はいくらかになるか。

対象者は、約450人の増加で、現在の非課税世帯・均等割のみ課税世帯の330人と合わせて約780人と見込んでいる。また、増額する額は約400万円の増加と見込んでいる。



市役所

建設常任委員会



大野委員長



渡邊幸子副委員長



平野委員



松田委員



猶木委員



渡邊麻衣子委員



梅村委員

議案第34号 北名古屋市次世代企業立地促進条例の制定について



議員

鍛冶ヶ一色、徳重地区にて、市内に条件のいい所がないため、企業が流出している。誘致も大変重要なことだが、企業を流出させないことが重要では。

工場の流出は厳粛に受け止めている。本市では住工混在によって操業が困惑されている方がいる。沖村西部地区、市街化編入後は住宅と工場が混在しないよう、工業地域を予定している。



市役所

審査報告

～主な議案質疑内容を
紹介します～

総務常任委員会



牧野委員長



沢田副委員長



上野委員



桂川委員



大原委員



齊藤委員

議案第1号 北名古屋市行政不服審査会条例の制定について



議員

合併してから今まで、何件の不服申し立てがあったか。

異議申し立ては14件あり、内訳は下水道の受益者負担関係8件、税務関係5件、他1件である。他に県への審査請求が2件あった。



市役所



議員

市に行政不服審査の機関が設けられることは非常に良いが、委員の選任について議会の承認を受けるべきではないか。

委員の任命については行政不服審査法において規定がないことから、市民に選ばれた市長において任命することとした。また、公平性を保つため、法解釈の専門家等の行政に精通した方を考えている。



市役所

議案第8号 北名古屋市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について



議員

特別職期末手当の引き上げは、なぜ平成27年4月1日にさかのぼり適用するのか。

一般職、特別職の給与等については毎年8月に出される人事院勧告に基づいている。特別給については前年8月から当年7月の調査を基に決定している。今年度の勧告であるため平成27年4月1日現在としている。



市役所

議案第10号 北名古屋市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について



議員

監査委員の報酬が40万円近くの引き上げになるが、近隣市町の状況は。

県平均は107万6,233円、1日2万7,000円であり、本市は63万6,000円で1日1万4,000円であることから、近隣市町並みに引き上げた。



市役所

※その他の質問は、市議会ホームページにある会議の録画中継でご覧いただけます。

モニター会議結果報告

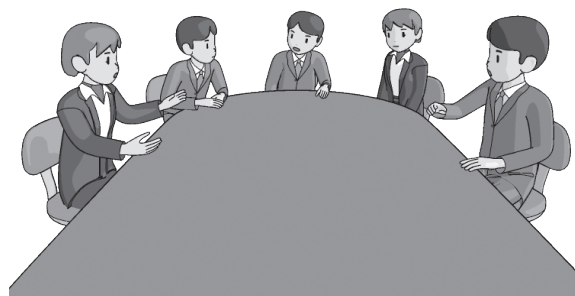
平成28年1月27日（水）午前10時から東庁舎4階第1委員会室にて市議会モニター会議を開催しました。本年度の市議会モニターと議長、副議長及び議会運営委員会委員長が出席し、意見交換を行いました。主な内容は次のとおりです。

意見

市制10周年を迎えるが、市議会の大きな成長は何か。

回答

本市議会はこの10年全国に先駆けるような議会改革を行っている。議会基本条例の制定、議会改革推進協議会の立ち上げ、市議会モニター制度や、議員定数削減、政務活動費の増額とともに常任委員会視察を廃止する等、より良い議会運営を目指し、実践して効果もあげている。



意見

各委員会において、特定の議員以外からも議論、発言をしてほしい。

回答

委員会の発言は、若い議席の議員から優先的に発言することや、重複発言をしない等ルー尔的なものがあり、それが回数の多い少ないになる。議論の場であり、質問することが重要だが、当局と勉強している議員は、質問する前に既に理解していることもあり、そうした点を理解してほしい。



意見

モニターの意見や提案は、議会の参考になっているのか。

回答

モニターからの意見や提案は、全て議員に伝わっている。今後とも貴重な意見は、議員間や議会改革推進協議会等で取り入れていきたい。



市議会モニター意見箱

～第1回 定例会～

平成27年度の市議会モニターは8名の方が活躍しています。
ここでは、いただいたご意見を紹介します。



- 議会全体に活気が無い。活力が求められる。
- 予算決算常任委員会で質疑応答、討論が少なすぎる。また、発言者が限られている。
- 議員の発言は声が小さく聞き取りにくい。もっと迫力のある質問を期待したい。
- 以前に比べ、傍聴者が多くなった。
- 本会議最終日の討論は久しぶりに有意義だった。

その他沢山の貴重なご意見、
ご提案をいただきました。今後の議会運営に
役立てていきたいと思いをします。



平成28年 第2回 定例会の予定

6月3日	本会議（初日）	【請願書・陳情書の提出について】 第2回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、5月25日（水）の午後5時（予定）です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
6月14日	本会議（一般質問）	
6月15日	本会議予備日	
6月16日	予算決算常任委員会	
6月17日	福祉教育常任委員会	
6月20日	建設常任委員会	
6月21日	総務常任委員会	
6月22日	鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会	
6月27日	本会議（最終日）	

議員自己紹介

もっと身近に! 20名リレー

No.4

現在20名の議員で市議会を運営しています。議会を身近に！
を目指し、毎号リレー形式で議員が自己紹介をしていきます。



わた なべ さち こ
渡 邊 幸 子

- 議席番号／7
- 市政クラブ
- 2期目

- A1.** 色々なことに挑戦「料理、手芸、資格」等
A2. 喜ばれる喜、人の痛みを知る
A3. 両親、草笛光子
A4. 将来を担う子供達を地域ぐるみで育む地域にしよう!!

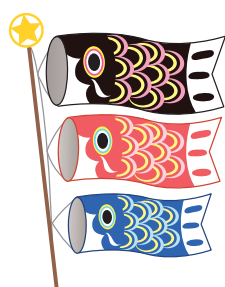


なが つ まさ かず
永 津 正 和

- 議席番号／8
- 市政クラブ
- 2期目

- A1.** 中日ドラゴンズの試合観戦(主にテレビ)
A2. 初心、継続
A3. 吉田茂、五木ひろし
A4. 誰もが実感できる新しいふるさと北名古屋の実現をめざします。

質問内容 Q1.趣味は? Q2.好きな言葉は? Q3.尊敬する人・好きな芸能人は?
Q4.市民へメッセージを!



表紙紹介

鈴木 春佳さん

(名古屋芸術大学4年)

この作品は、名古屋芸術大学の学生さんに描いていただきました。



編集後記

新年度を迎え、街角では新入生や新入社員の姿が見受けられるようになりました。北名古屋市も合併から10年が経過し節目の年となります。誰もが経験する新人だった頃の初心を忘れることなく、次の10年に向けて市民と共に北名古屋市を盛り上げていきたいと思っております。

今後とも市議会に対しましてご理解ご協力をお願いいたします。

